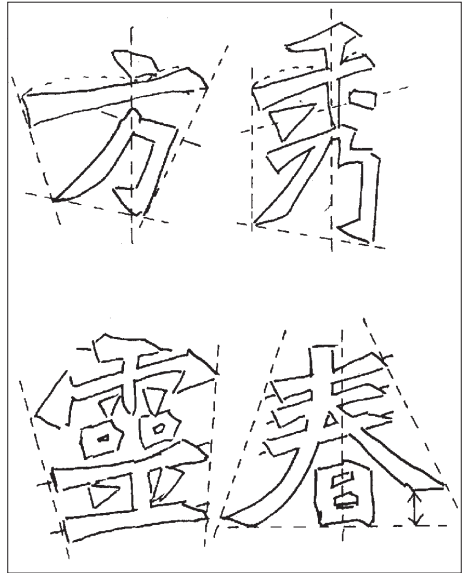


◆半紙二行たて書きに臨書して下さい。出品料430円



張猛龍碑 (北魏)

- 1、字句「秀春方靈」
- 2、形式「半紙タテ使用。右に「秀春」、左に「方靈」と二行に臨書し、余白に落款「○○臨」と調和を工夫し書き入れる。
- 3、概観「前号でも一部形について取り上げ解説しましたが、横画の右上がりには「張猛龍碑」の特徴のひとつです。その横画の右上がり急なために、重心を右に寄せるものが多いのに気がつきました。今回の課題の「秀方」もその典型的なものです。条幅の課題の中にも「千尋長万」などが見られます。これは、バランスを取るための工夫です。横画の右上がり強いと文字の左側が下がって見えます。この横画とのバランスを取るため縦画、文字本体を右に寄せているのです。
- 4、各字のポイント
  - 秀 三画目の縦画の位置に注目。二画目の横画の左右二対一の割合に位置す。「乃」の一画目少し開き気味にし上部とのバランスを取る。
  - 春 前月の「春」と異なり、横画同一方向、同間隔。四画目は中心より左から入筆。右の払いが開き気味にすることにより「日」は中央に位置。
  - 方 一画目の点は右に寄る。三画目も右肩を下げ右に寄せ、四画目は少し開く。
  - 靈 一画目稍右下がり。二画目は三角形に。雨冠の四点は一点に省略。三つある「口」も二つに。「巫」の一画目長く「从」も一点に省略。

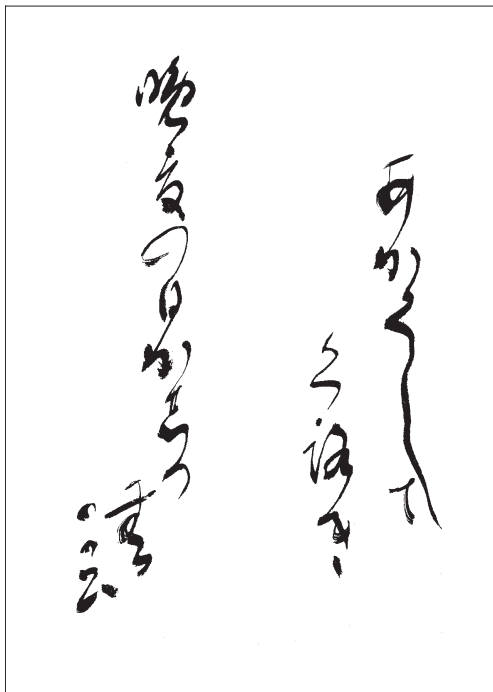
半紙課題(予告) (八月二十二日締切)



平岡華雪先生書 福は無為より生ず

訳：幸福とは欲望を持たない淡泊無為から生まれる。

平岡華雪先生書 あかくして黒き晩夏の日が沈む(誓子)



# 全国書筵の集い講師紹介

高橋 香樹

和紙がユネスコ無形文化遺産に登録されたことは皆さんもよくご存知のことと思います。しかし、残念ながら四国、出雲、因州、越前、甲州といった画仙紙の産地は入っていません。

そこで、今回の「全国書筵の集い」の講師は、甲州和画仙（中国産の画仙紙は本画仙という）の製作者山十製紙代表取締役で西嶋和紙工業協同組合専務理事の笠井伸二氏にお願いすることにいたしました。

笠井氏は西嶋の地に十三代続く旧家のお出で、山十製紙は祖父が創業し一三〇年の歴史を有している。

西嶋の紙は、武田信玄の家来が四五〇年前、伊豆の修善寺で修業した後西嶋で紙漉きを始め、信玄の庇護のもと多くの紙漉き屋ができ、江戸時代には一〇〇軒以上あったという。しかし、現在は手漉き五軒、機械漉き二軒になってしまった。

笠井氏は東京神田の清雅堂で二年間修業の後西嶋に帰り、以後三十三

年紙漉きに携わってきた。

西嶋の紙は昭和三十年頃、書家の竹田悦堂氏の「中国画仙のような紙ができないか」との要望により研究今の西嶋和紙が漉かれるようになった。手漉きは身心共に重労働で、これを解消すべく先代自らの名前をつけた「成高式」という方法を開発、特許を取る。この「成高式」により身体的にも楽になり、安定した紙が漉けるようになった。

書道用画仙の製産では一大産地でありながら甲州紙、西嶋紙の名前はあまり知られていない。これは西嶋独特の販売方法があるからで、西嶋では漉いた紙は一日問屋に収められ、各店舗独自の商品名にて販売されるために同じ紙でも商品名が異なり、西嶋の名前はどこにもでてこないことによる。

当日は、試し書きができるよう隣室に一式用意しますので、是非書き味を体感して下さい。

## 第二十三回 全国書筵の集い

「文房四宝」については、第十九回講演で「墨」について取り上げましたが、今回は「紙」について話していただけることになりました。実際に見学に行かないと解らない事を映像や実物を見て深く知ることが出来ます。是非支部長先生始め多くの方のご出席をお待ち申し上げます。

日時 7月20日（月） 祝日・海の日

講演会 午前十一時から十二時半 四階 かえで

講師 笠井伸二氏

（有）山十製紙 代表取締役

西嶋和紙工業協同組合 専務理事

題 「文房四宝 紙―画仙紙を中心に―」

懇親会 午後一時から三時半 三階 おおとり

研究部・推薦合格者の授賞式が行われます。

席上揮毫 高橋香樹 石島柏美 星野煌雪

会場 ニューオータニイン東京（2号館）

（JR山手線大崎駅北改札口より東出口方面徒歩2分）

会費 講演 四、〇〇〇円

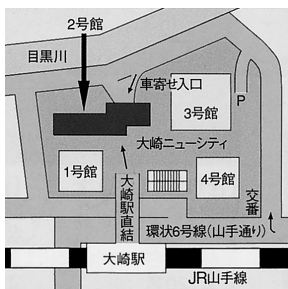
懇親会 一〇、〇〇〇円

郵便振替送金でお願いします。

申込 6月1日（月）から

定員になり次第締切ります。

※懇親会場で筆の販売します。  
（一割引）



張猛龍碑



源在震。積石千尋。長松萬刃。軒冤周

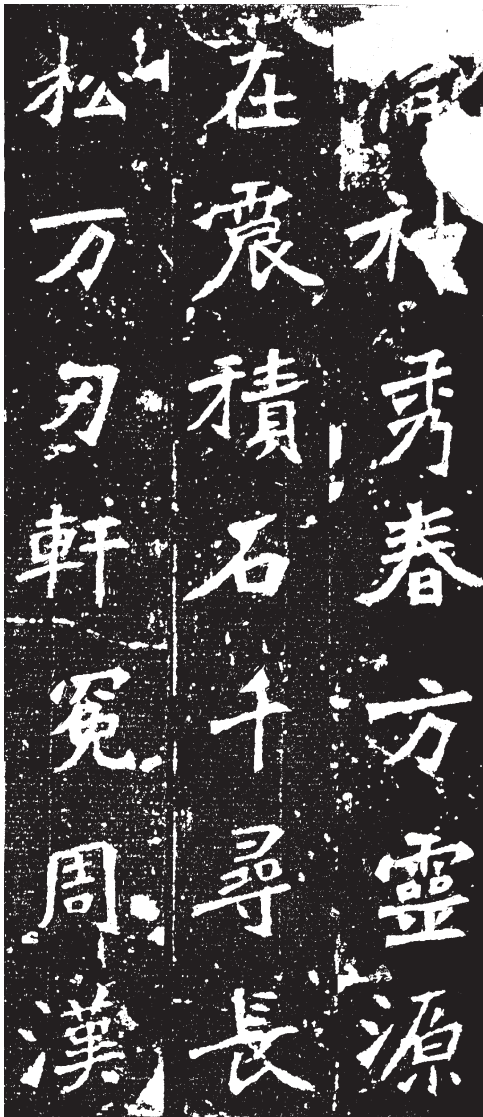
条幅臨書部は半紙臨書部と連動しています。半紙に取り組んだ方は是非条幅にもチャレンジしてください。また条幅だけ出品も大歓迎です。

▽字詰め自由。

▽落款は「○○臨」と調和を

工夫し書き入れる。

▽出品料五四〇円。

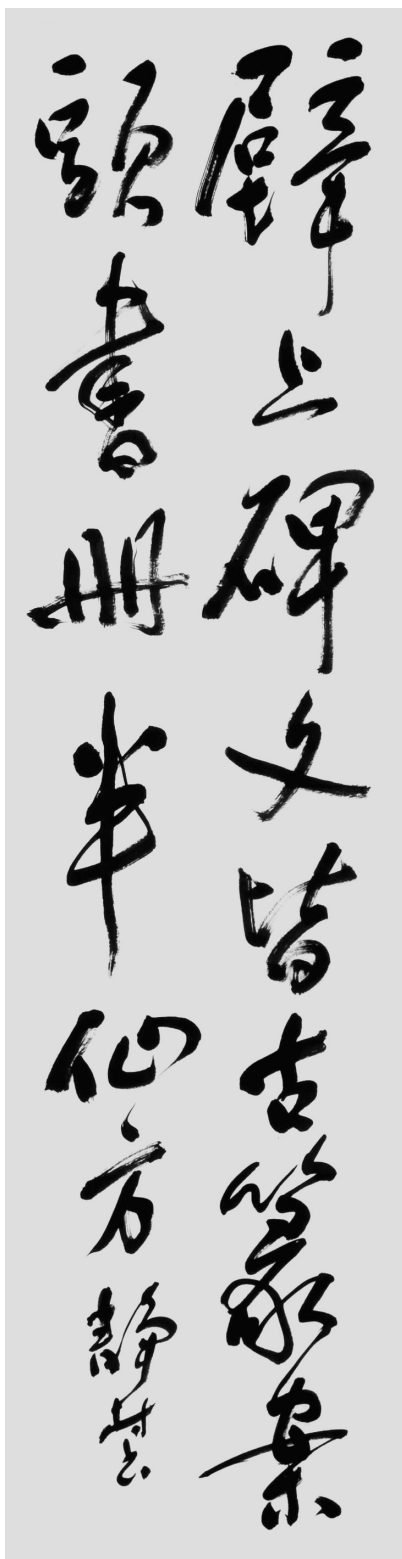


◆注意 ・条幅臨書部の出品はバーコード券右空欄に条臨と記入する。

A

鈴木静村書

壁上碑文皆古篆 案頭書冊半仙方(許斐)  
壁上の碑文皆古篆、案頭の書冊半ば仙方。



B

高橋香樹主幹書

行の照応と躍動感——壁の大に対して頭を小さく。上に対して書は反対に大。碑と冊は大と小の対比。文皆の二文字に対し半一文字。小粒の古には字幅の仙で対し、篆の大に方の小で照応。左右両行の流れで躍動感の打ち出しの一つに、縦画の変化があります。傾け、反り、線質等に工夫を加えるように努めて下さい。上皆古書冊半仙の中の縦画に注視。墨継ぎは古と半を目的に。



行草単体の作。草書は「碑・皆・古・頭・書・冊・方」の七字。行の出入りに目を向け、「古・案・書・冊・仙」は横に広げた形にし、行が単調にならないようにする。「壁」は下の「土」を偏にもってくる形。墨継ぎは「篆」と「冊」。墨があるうちに渴筆を表出し墨をもたせる工夫を。

訳：碑文に刻む文章の字は皆、篆書で書かれている。机の上に置いてある本は、神仙(仙人)のことが書いてある書物である。

予告 (八月二十二日締切)

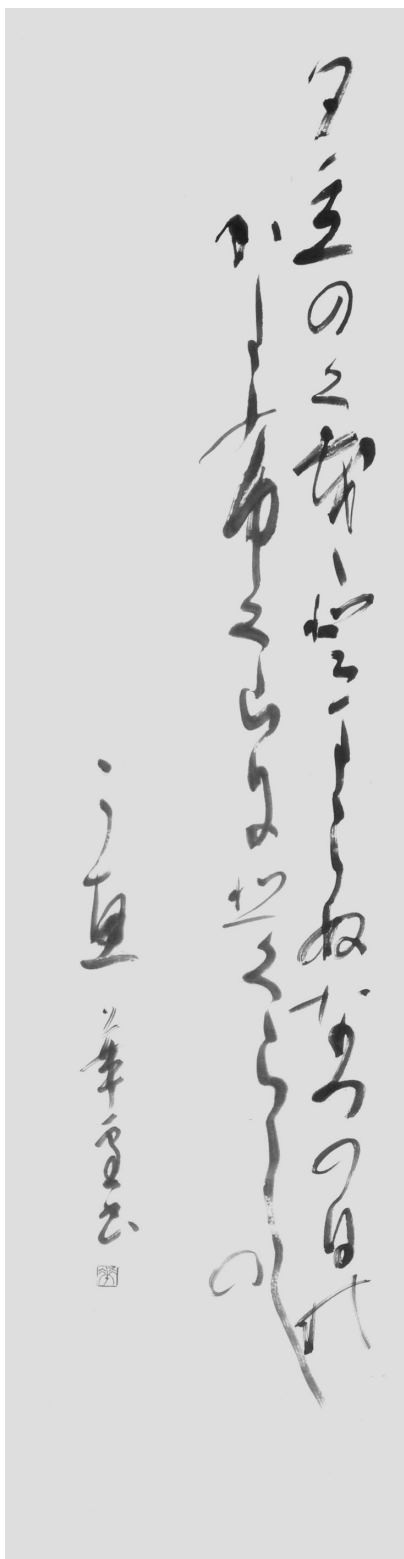
心如金石 志似松筠(關羽)

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点(バーコード券の条漢を○で囲み(1)と記入する。)
  - ・二枚目からの出品(バーコード券の条漢を○で囲み( )に何枚目か数字を記入する。出品料540円)

A

平岡華雪先生書

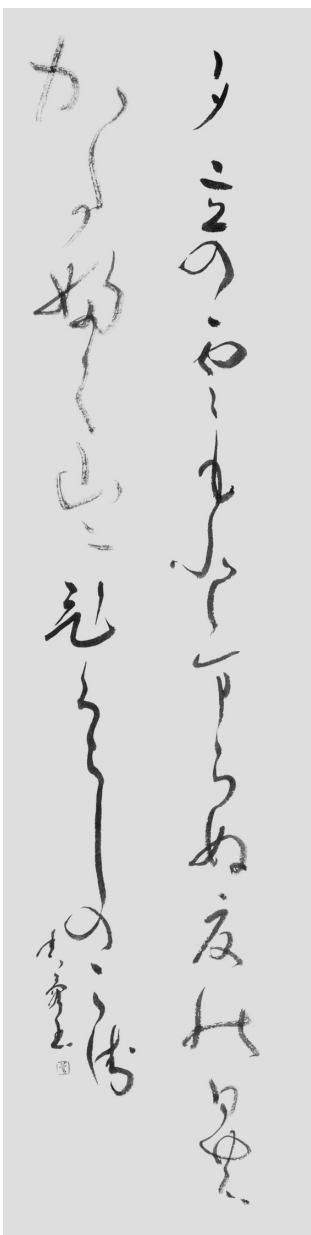
夕立の雲もとまらぬ夏の日のかたぶく山にひぐらしの聲 (新古今和歌集 式子内親王)  
夕立の久茂、登方らぬなつの日能か多布久山尔悲久らしのこ恵



B

川上香蓉先生書

夕立の雲も登方らぬ夏能日能か多婦く山二飛くらしのこ衛



学び方

○作品について 夏の歌ということ、なるべくすっきりとした感じを出したいと思いました。出だしは、「夕」と「立」の間に字間をゆったり取ってすっきりと書き出し「雲」は稍大きめにしアクセントをつけ「もとまらぬ」では単調にならないように左右の動きを意識。「夏の日の」に出て来る二つの「の」は書き分けて変化を出しました。二行目は思い切り渴筆を効かせて一行目の潤筆との対比を効果的に表現し、最後の句はすっきりと収めました。(渴筆部分が印刷で上手く出れば…)

○紙と筆 紙は二十年程前の古い紙なので少しゴワゴワした感じですが可成かすればよく出るようです。この紙に合わせ、て柔らかい筆を使いました。

予告 (八月二十二日締切)

裏山に木を挽くひびき家のうちに聞けば間近く出て見れば遠し (島木赤彦)

○作者について

式子内親王 (しよくしなないしんのう) 正治三年(一二〇一)五十歳くらいで没。父は後白河院。母は藤原季成女季子(成子とも)。守覚法親王の妹。後に剃髪して承如法といった。新古今和歌集の最多入選女流歌人(四十九首)。家集に「式子内親王集」がある。千載集初出歌人。

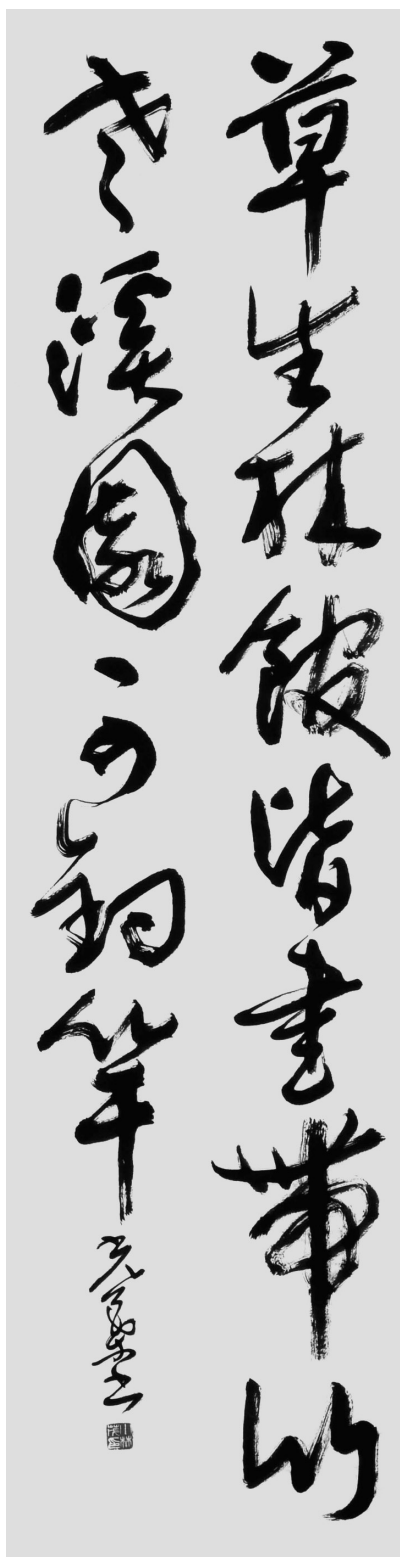
◆注意

- ・条幅部の出品は一人一点(バーコード券の条かを○で囲み(1)と記入する。)
- ・二枚目からの出品(バーコード券の条かを○で囲み( )に何枚目か数字を記入する。出品料540円)

条幅部 随意参考

小林光葉先生書

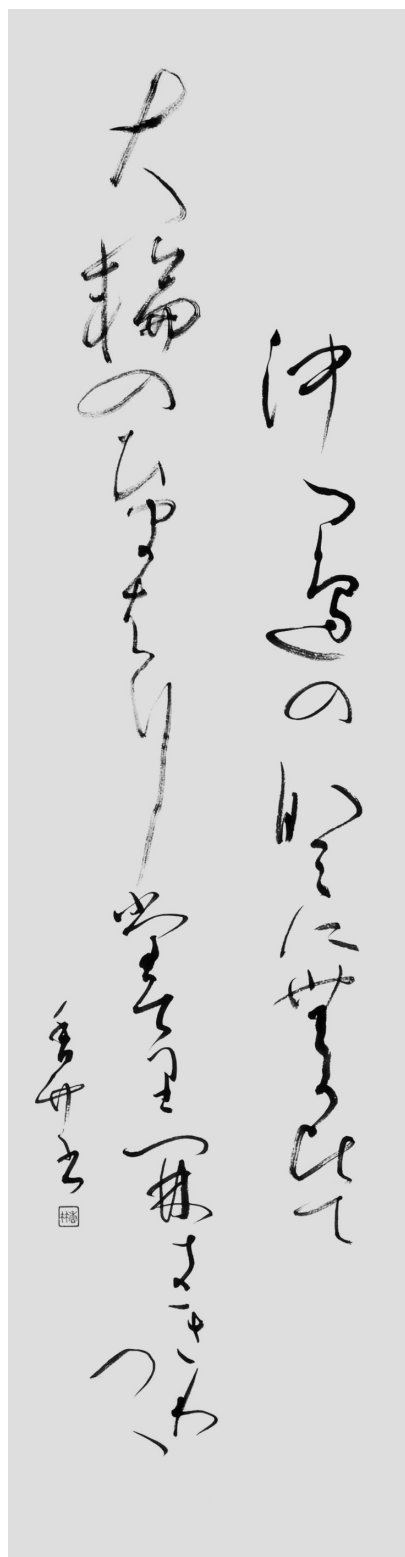
草生林館皆書帶 竹老溪園可釣竿（王行）  
 草は林館に生じて皆書帶、竹は溪園に老いて釣竿に可なり。



訳：草は林中の亭館に生じて書帯のごとく、竹は谷川べりの園に成長して釣竿によくようになった。

青柳香竹先生書

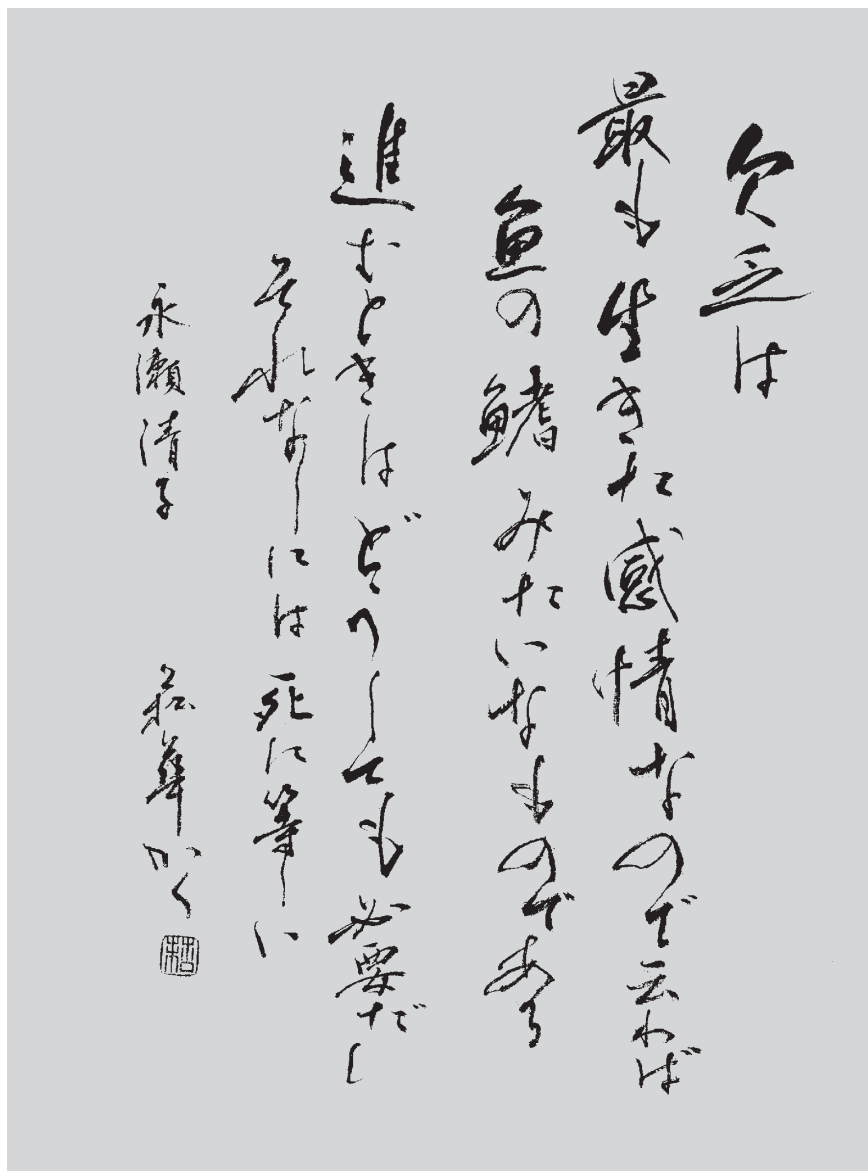
沖つ邊の浪にむかひて大輪のひまはり立てり開き切りつつ（岡本かの子）  
 沖つ邊の那三に無可比て大輪のひ末者り堂て里開支き利つゝ



- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点（バーコード券の条随を○で囲み（1）と記入する。）
  - ・二枚目からの出品（バーコード券の条随を○で囲み（ ）に何枚目か数字を記入する。出品料540円）

小暮 菘華 書

- 今回も文字の多い課題です。よく文を読んで内容を捉えてから書いて下さい。
- 布置を考慮し、バランスよく。
- 潤濁、太細、大小の変化に留意する。
- 極端なデフォルムは避ける。

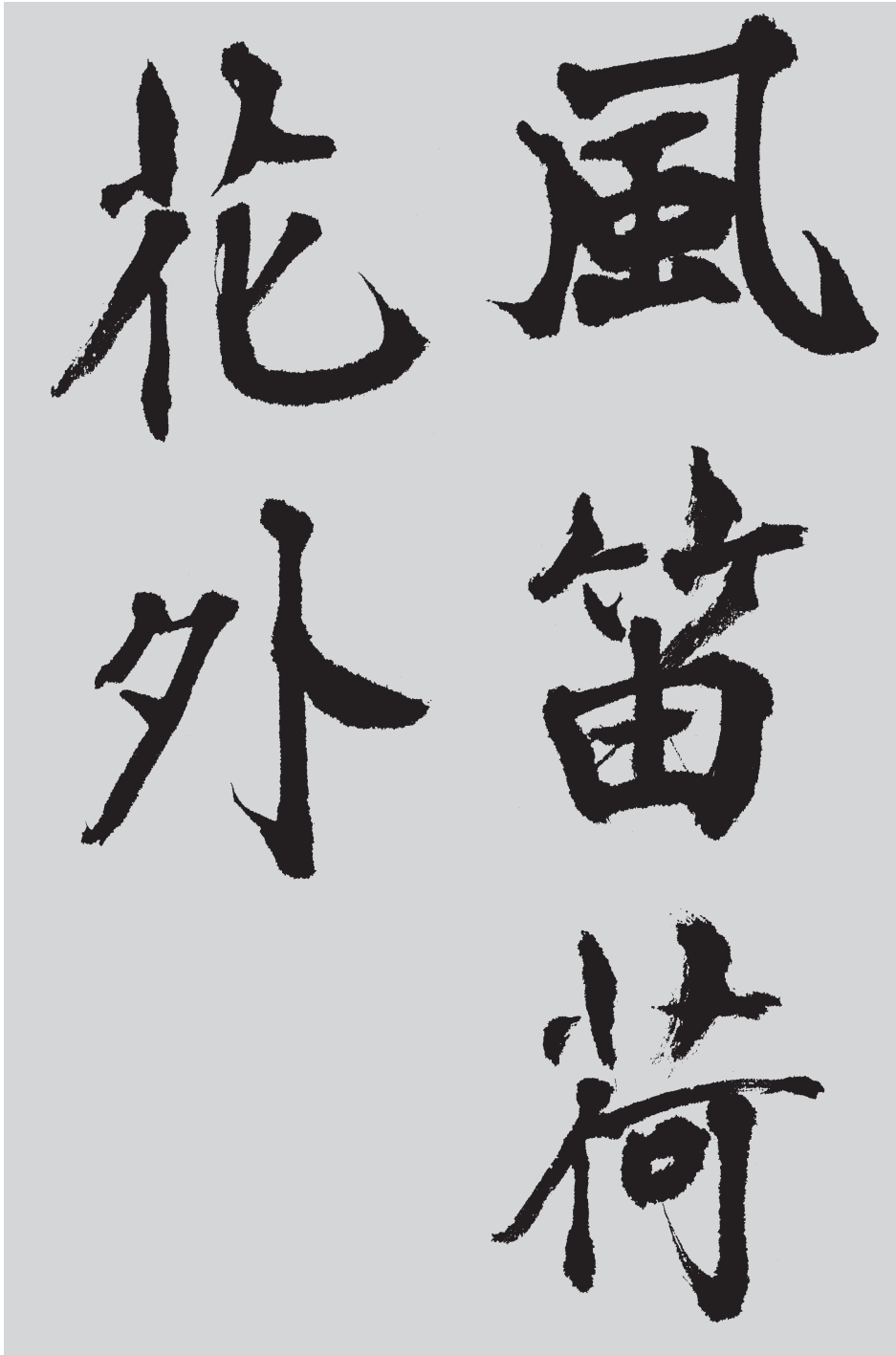


欠乏は 最も生きた感情なので云  
わば 魚の鱭ひらみたいなものである  
進むときはどうしても必要だし  
それなしには死に等しい

永瀬 清子 (詩人)  
一九〇六年〜一九九五年、岡山県出身。  
愛知県立第一高等女学校卒業。在学中から佐藤惣之助に師事「詩の家」同人となる。  
一九四五年岡山県に帰り、農業に従事しながら詩作を行う。  
詩誌「黄薔薇」創刊、詩集・短章集多数発表。  
一九四九年岡山県文化賞受賞、現代詩女流賞受賞。

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。出品料540円。

- ①バーコード券右空欄に漢かと記入 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新



平岡華雪先生書

風笛荷花の外ほか(施閨章)

訳：風に伝えられて蓮のひらくあたりから笛の音が聞える。

〈草冠について〉

二つの草冠。この書き方のポイントは、

一画・四画の頭部を高く突き出すこと。

×印のように頭を引っ込めると姿勢が悪く見える。一画からのリズムも大切。



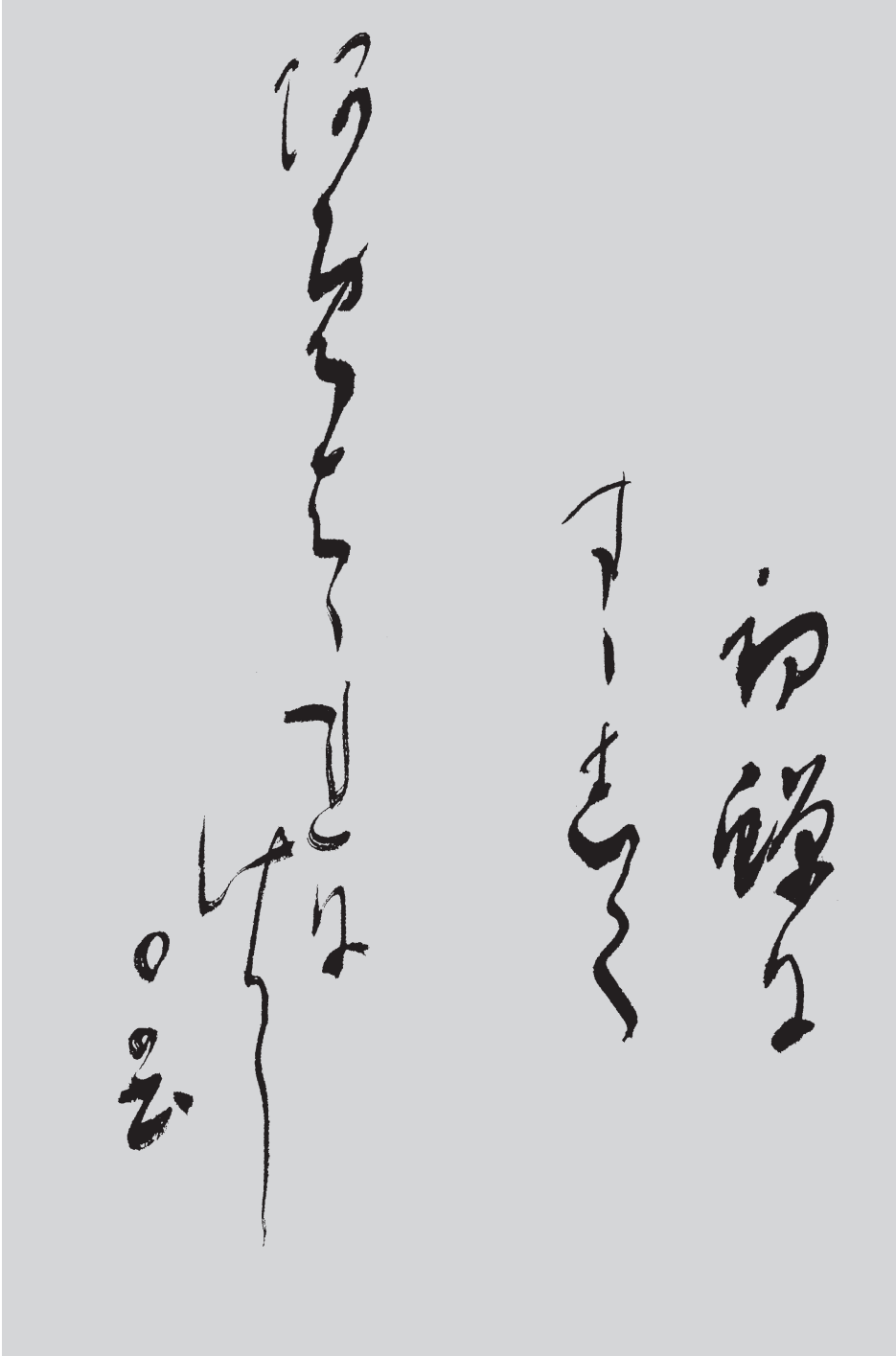
◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は430円。

①漢字部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新会員は無料。



平岡華雪先生書

初蟬に涼しく雨は晴にけり(梅郊)  
初蟬<sup>に</sup>涼しく雨は晴にけり(梅郊)  
初蟬<sup>に</sup>涼しく雨は晴にけり(梅郊)



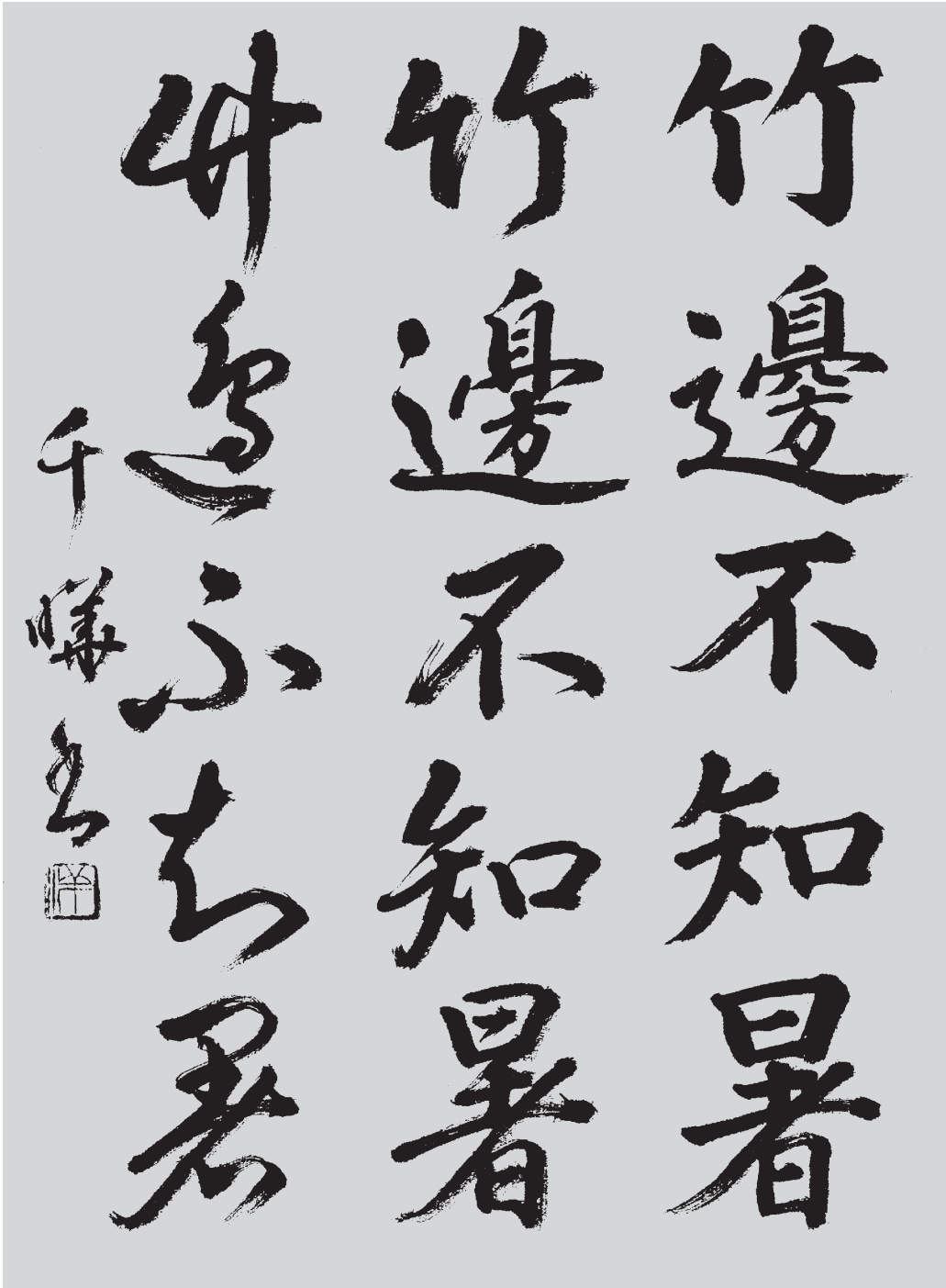
〈左群、主調として〉  
華雪先生の初夏らしいスッキリとした二群構成。右群は「初」と「蟬」を離すことで風通しをよくして爽やかに。左群は見せ場。「阿免者」は抑揚をつけリズムカルに。「けり」は涼しげに寄せ、落款も左群の一行として効果的に入りたい。

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は430円。

①かな部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新会員は無料。

路川千曄先生書

竹邊不知暑（姚廣孝）  
ちくへんしよ  
竹邊暑を知らず

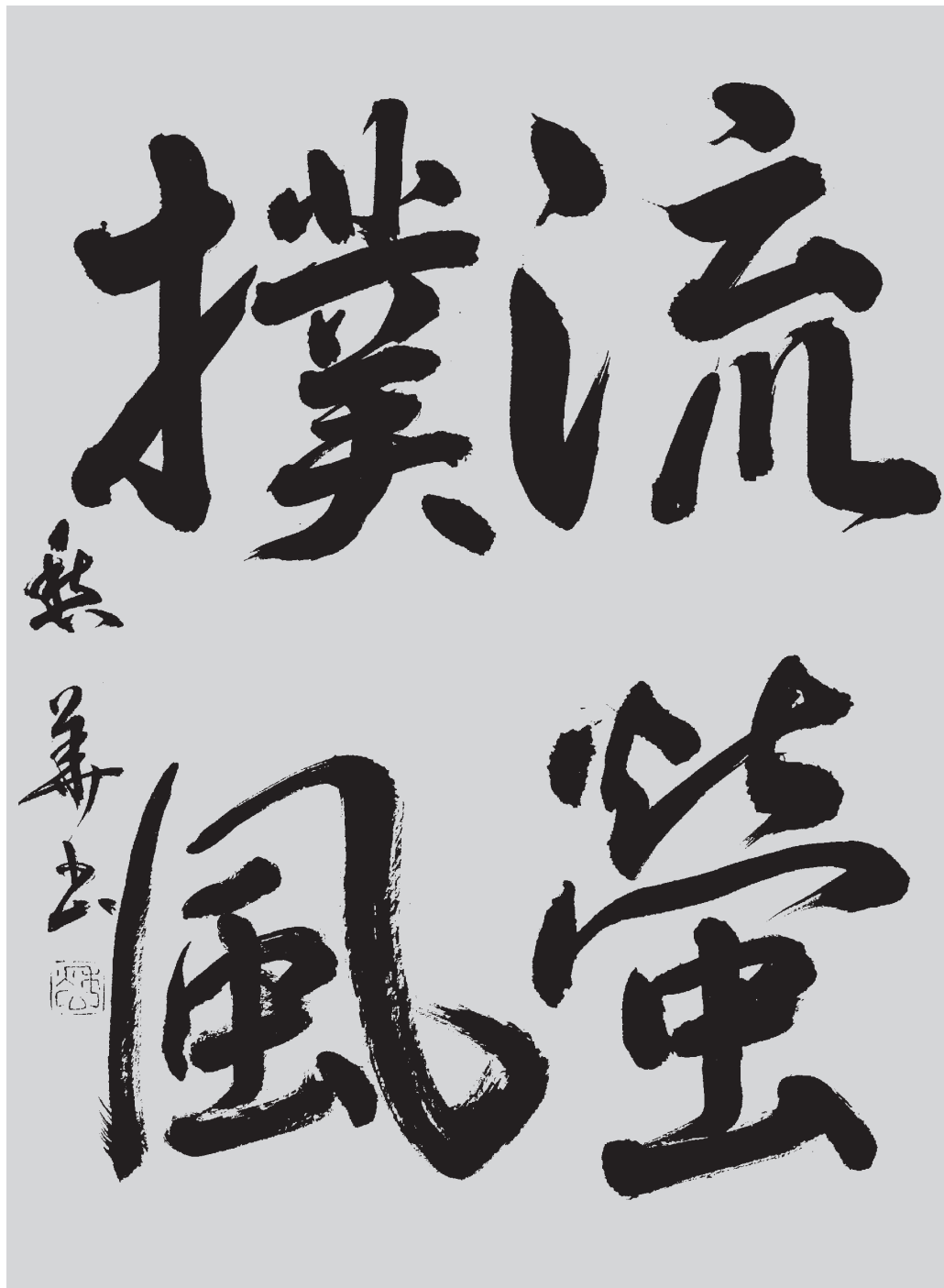


訳：竹林の辺りには風がそよぎ暑さを知らない。

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は430円。

石田愁華先生書

流螢撲風（陳眉公）  
りゅうけいぼくふう  
流螢撲風。



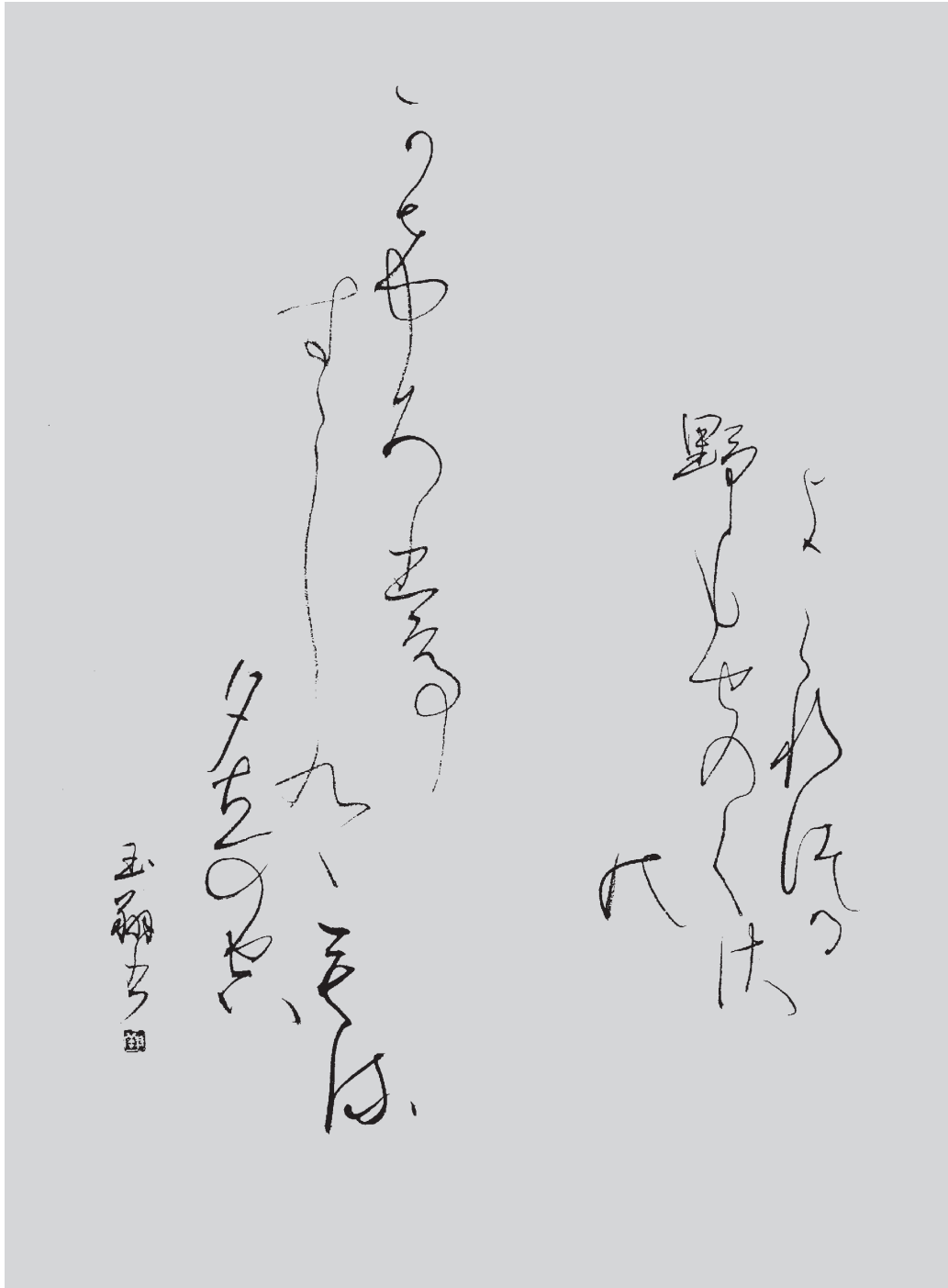
訳：風にまかせ、風に向かって飛ぶ蛍の様。

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は430円

随 意 部 参 考

福  
田  
玉  
翔  
先  
生  
書

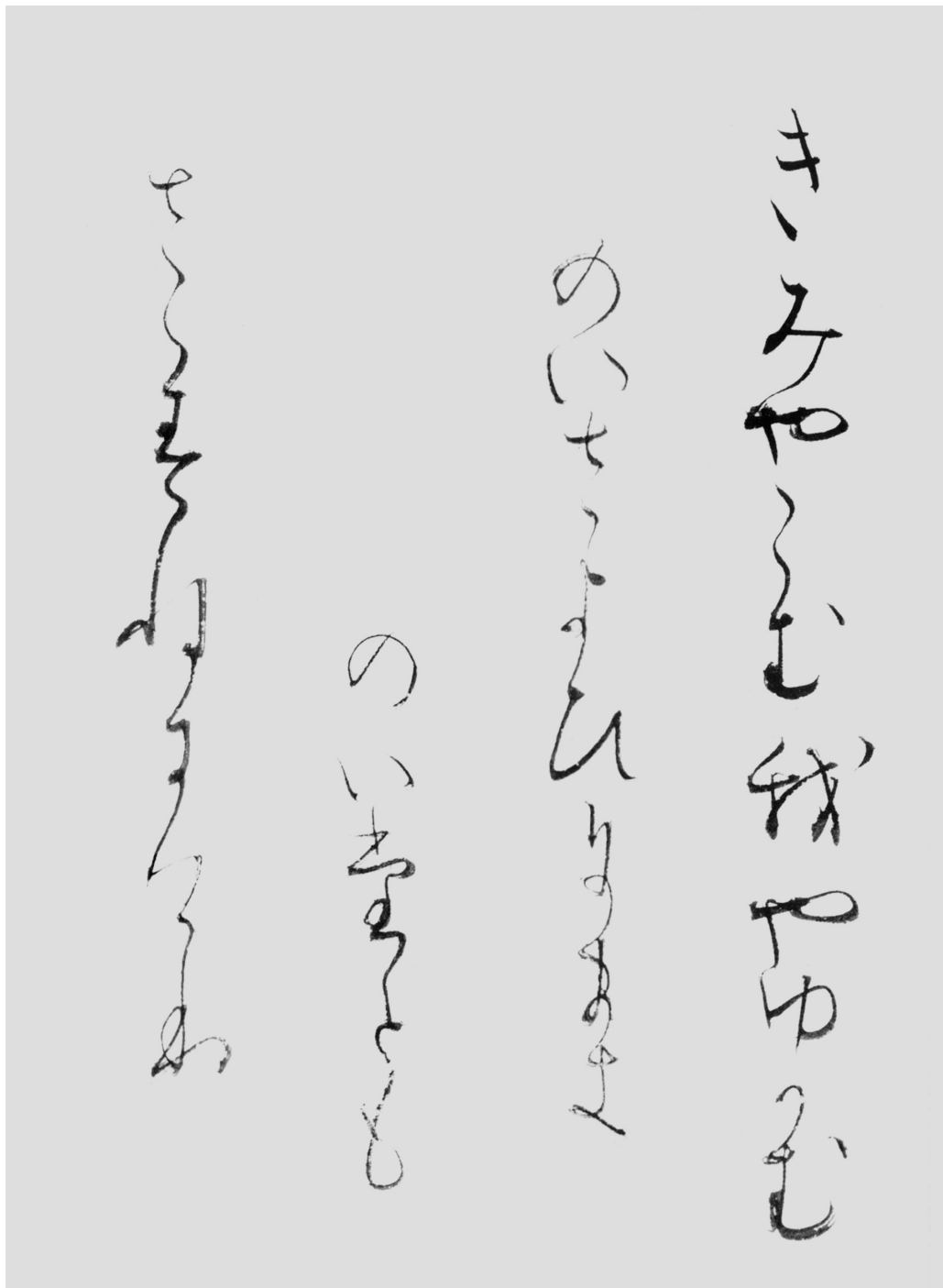
よられつる野もせの草のかげろひてすゞしくもる夕立の空  
（新古今和歌集）  
西行法師  
よられ徒る野もせのく佐能可希る悲亭すゞし九毛流夕立の空



1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は430円。

関戸本古今集

きみやこむ我やゆかむのいさよひにまきのいたどもさずねにけり



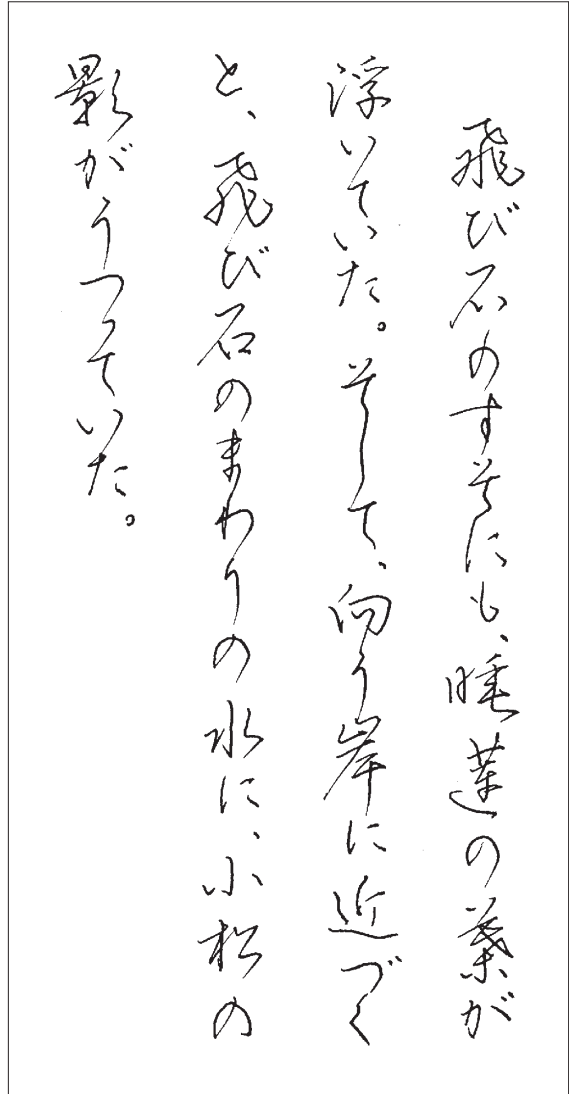
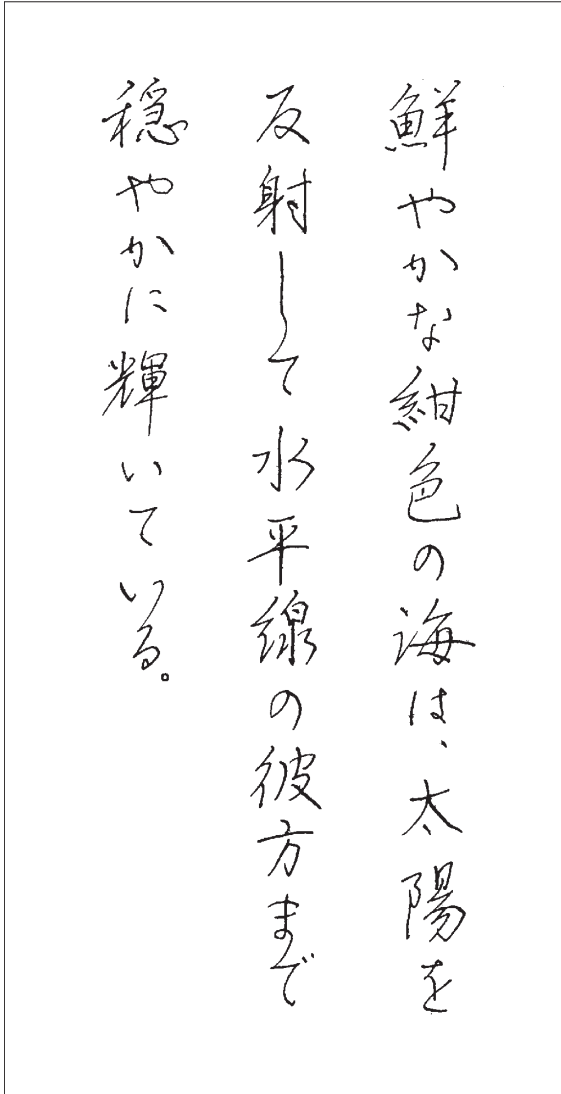
1. 随意部参考として出品してください。

湯澤春翠先生書

路川千曄先生書

課題2 (初段階以下)

課題1 (初段階以上)



課題1 (初段階以上)

飛び石のすそにも、睡蓮の葉が浮いていた。そして、向う岸に近づく、飛び石のまわりの水に、小松の影がうつっていた。

「古都」 川端康成

◆注意

- (1) 自分の段級に合った課題を選択。
- (2) ペンまたはボールペン(黒色)を使用のこと。青インクは不可。
- (3) 段級欄は本人が記入(色は黒)はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位に)次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新
- (5) 会員は無料・会員外は四三〇円

課題2 (初段階以下)

鮮やかな紺色の海は、太陽を反射して水平線の彼方まで穏やかに輝いている。

「ワイン一杯だけの真実」

村上龍